

第9回 村上市議会議会改革調査研究特別委員会記録

1 日 時 平成29年 9月26日(火) 午後1時00分

2 場 所 村上市役所 第1委員会室

3 協議事項

(1) 議会改革「議員報酬と定数」に関するアンケート調査について

(2) その他

4 その他

5 出席委員(11名)

1番	河村幸雄君	2番	板垣一徳君
3番	本間清人君	4番	姫路敏君
5番	佐藤重陽君	6番	鈴木好彦君
7番	川村敏晴君	8番	尾形修平君
9番	竹内喜代嗣君	10番	渡辺昌君
11番	平山耕君		

6 欠席委員

なし

7 委員外議員

木村貞雄君

8 地方自治法第105条による出席者

議長 三田敏秋君

9 オブザーバーとして出席した者

副議長 大滝国吉君

10 議会事務局職員

局長 小林政一

次長 大西恵子

書記 百武美奈

(午後1時00分)

委員長(平山 耕君) 開会を宣する。

平山委員長 今回は先回ご協議いただいた議員定数と報酬に関するアンケート調査についてご決定いただくこととしているのでよろしくお願いいたします。

協議事項(1) 議会改革「議員報酬と定数」に関するアンケート調査について

平山委員長 はじめに、次第1、協議事項の(1)議会改革「議員報酬と定数」に関するアンケート調査についてを議題といたす。事務局から説明願う。

事務局長 皆様のお手元の資料のほう、本日の日付と第9回会議資料ということで、村上市議会議員に対する議員定数及び議員報酬に関するアンケート調査(案)のほうをめくっていただきたいと思う。先般9月12日の第8回当委員会のほうでご検討いただいた内容でもって削除したり、加えたりしている。見ていただいて、最初の第1、アンケート

調査の概要である。こちらについては、後ほどまたご協議いただきたいということである。2、調査期間は、9月29日議会最終日で全員協議会を開催させていただいて、そこでの説明、配布ということで、そこから10月10日までということをお願いしたいと思う。4についてのアンケート調査は実名により実施し、個別の調査票は公表されることを前提としているということである。この件については、また後ほど公表の時期について、前回のご協議も含めてご検討いただきたいと思う。また、その下の5、取りまとめについて、アンケート調査の結果についてだが、正副議長及び当委員会の正副委員長というふうにしてはいるが、こちらについては先回話がここに及んでいなかった。事務局としては報酬についての調査項目についての先回の資料の中で収入についての項目もあった関係で、正副議長も含めたほうがよろしいかと思ってこのような案にしているが、ご確認いただきたいと思う。次に右側のページで、最初に1として議員定数である。議員定数の1 (1) 現在の定数をどのように考えるか。(2)、(1)で②又は③と答えた方で、望ましい議員定数。(3)、(2)で回答した方のお考えの理由、そして先回あった議決権以外に重要と考える項目という項目を削除して、繰上げとして4として、議員定数のあり方を考えるときに一番重視しなければならないことは何だと考えますかということである。裏面に続くということではぐっていただいて、続いて2として議員報酬である。1番、議員報酬以外の収入がありますか、ないですか、ということで、注1参照とあるがこちらのほう削除いただきたいと思う。(2) 議員報酬額についてということであるが、これは先回の資料では(4)ということであった。現在の議員報酬額をどのように考えていますか。ということで、その下(3)以降は前のものの繰上げである。(2)で②、③選んだ方について、議員報酬額の望ましい額をカッコの中にご記入いただくということである。その下、(4)についてはその理由をお尋ねしている。その下の(5)については定数同様、このあり方を考えるときに一番重視しなければならないことは何かということである。裏面に続くということで最後のほう右のページであるが、3、上記のほか、定数及び報酬に関して意見があればお聞かせくださいということである。そのカッコの下、記名式ということなのでお名前をアンダーラインの上にご記入いただくということであって、その下※印のところ提出期限、10日まで議会事務局まで提出くださいということである。以上である。

平山委員長 この件について、質疑ご意見等あったらどうぞ。

(質疑)

姫路 敏 アンケートの説明していただいたが、アンケート調査の概要、はぐっていただいたの5の取りまとめ、今ほどご説明あったが、取りまとめという行為に関してみれば、ただ事務作業でしかないのかなと思うが、そこに正副議長だのなんだのということが必要なかどうか、その後の意見交換、議会改革調査研究特別委員会などでは正副議長は今も同様いてもらえばいいだけであって、どうなんだろうと思うのがいがか。

事務局長 今ほどご意見いただいたとおりなのかなと思って。事務局に取りまとめる、また正副委員長にご相談するというのは当然のことであるので、この項目は必要ないんじゃないかなということと同様の考えである。

姫路 敏 今ほど説明していただいて、次のページ(4)だが、議員定数のあり方を考えるときに私は一番も二番も三番もないが、2、3個重要視しなければいけないと思う部分が頭の中にあるが、一番と書かれるとその一番しか言えないので重視しなければなら

ないことは何だと考えますか。一番という文字がいらぬんじゃないかと思うがいかがが。

平山委員長

みなさんいかがか。

姫路 敏

2の議員報酬についての(3)だが、これちょっと間違いやすいと思うので、年収か月収かという部分で区切りをつけたほうが良いと思う。例えば今現在は27万3,000円で比較するためにはよその平均見ると39万とかあるが、そういう入れ方にしてもらうのか、それとも年収的に考えてのいくらだと表示するのかという部分が非常にわかりにくい。もし表示してもらえるのであれば、現在27万3,000円であるがおいくらであればいいとお考えですか、とすると、月収だなということがわかるので、いかがなものか。その通りだと思う。また、ご要望のあったこの報酬の調査結果のところでも、報酬月額とあるので今ほどのお話のとおり、修正したほうが良いかなと思う。

事務局長

姫路 敏

(5)だが、ここもやっぱり、報酬のあり方を考えるときに重視しなければならないことは何だと考えますか、ということで聞かれたほうが、二番三番ある人も上手に書けると思うのでいかがなものか。

姫路 敏

最後の3番だが、上記の他というよりその他じゃないかと思うが。上記なんて上になり、前1ページしかない。その他でもいいし。一応私がアンケート見てばばばっと見たときに感じたことを言わせていただいた。以上である。

平山委員長

他にないか。大体いいとこついていると思う。

(何事か呼ぶ者あり)

板垣一徳

本会議があるわけだから、その時に全員協議会があるわけだから説明して、日程どおり10月10日までこれを収集するようなことに進めていただければ私はいい。

事務局長

冒頭説明申し上げた中での1項目になるが、公表の時期ということで先般ご意見いただいた中であるが、時期についても党派での持ち帰りというご意見もあった。このことについてもお決めいただきたいと思うが、これを政務活動費の公表と同様に議会事務局のほうへ希望の方が来て、個々の議員のこのアンケートを見れるようにすべきだという話、それとまた違うかもしれないが、この結果について当然取りまとめをして次の特別委員会で結果を見るわけなので、公表となればその後になるだろうという意見もあった。その辺も含めてみなさんのほうでご協議いただきたいと思う。

尾形修平

今局長言われたように、当然これが10月10日で締め切りになるわけなので、その後この委員会を開催させていただいて内容確認を諮った上でないと公表はできないと思うので、公表の時期に関しては次回委員会以降になるんでしょうし、この前話しされた公表の方法に関しては、先ほど局長言われたように政務活動費と同等の公表の方法でいいのかなというふうに私は思う。

佐藤重陽

今の尾形委員の意見も良いと思うが、私が思っていたのがあくまでも情報公開の対象であるということをはっきりさせることが大切であって、わざわざお見せします、見に来てくださいなんていう代物ではないんじゃないかな。総括してある程度まとまったものを逆に市民に対して問いかけるという意味もあって、公表していくのであればそれは別だが、この資料がまとまったから一人一人の個人的な考え方が出てきたからそれを情報公開の対象とすることはいいけれど、公表するので見てください、読んでくださいみたいな代物ではないのでないかなと。必要な人にはいつでも情報公開いたしますという姿勢が大事なんであって、わざわざ売り込むものかなと私は疑問を感じた。あえて言うならば、これがまとめ、こういう方向でまとまってきたというものを公表していこう、市民のみなさんに聞いていただこうというのであれば別だが、果

尾形修平 たしてそんなことして騒ぐ問題かなと思って、ちょっと私は疑問であった。
私がさっき言ったのは、この委員会の活動に関してもホームページでオープンにしている、会議の内容に関して。その中でこういうアンケートが実施されて、10月10日までの期間でということで行われるわけだから、それに対して興味ある方は事務局に備え付けてあるので是非ご覧くださいっていうのでは全然いいのかなと感じている。

姫路 敏 私もそれでいいと思う。ここの4番目の取扱い、調査票は公表という言葉なのか、公開されることを前提にしておりますということのほうが。公表といとなんかみなさんにやるみたいで。公開ということを前提にしているというふうな、それだけでもちょっと違うのかなと。それともうひとつ6番目だが、もしかして私想像するにそんなことないと思うが、アンケートの調査様式というのは1番から3番までありますので、しっかりと全部記入されるようにご記入ください、というふうにしないと定数だけ書いてあとその他書かないのでは困るので、いくら言ってもそういう方が中にいらっしゃる場合もあるので、しっかりと最後までご記入くださいというのを付けておくべきだと、小学生に言うような問題だが、大事なんだろうなと思う。

平山委員長 これ渡すときにみなさんに・・・

姫路 敏 アンケート調査様式、次のとおりというよりも、1番から3番までしっかりとご記入くださいという言葉付ければ。

平山委員長 わかった、付け加えて記入する。そうすれば10日までにみなさんに書いてもらったときにいつごろまでに取りまとめの希望があるか。その後この委員会を開くということになると思う。

事務局長 その後に議会の会議日程も入れさせて決めていただこうと思うので。それと合わせてということになるかと思う。

川村敏晴 アンケートの公開についてだが、このアンケート様式に自筆で書いたものをそのまま公開するのか、一覧でまとめて1番から議員名と項目でどういうふうな表現しているか、事務的にまとめたものの公表になるのか、その辺はどんなふう考えているのか。これからでいいの。

(何事か呼ぶ者あり)

川村敏晴 それはその後でいい、今後ね。

佐藤重陽 この間から言いたいこと二、三あったが、次の会議ということなんで、次の会議をこのアンケートのための会議にするわけではないよね。というのは、議会改革の中でまず相談しなきゃいけないことは結構あるんでないかなと思うが、ここにはまってしまうと、なんか議員報酬と議員定数が議会改革のすべてみたいな空気がないでもなくなってきているので、少しこの議会改革の会議のあり方を気を付けなければいけないんでないかなという疑問を少し感じているんで、その辺をみなさんちょっと考えていただけないかなというふうに思っていた。

平山委員長 そのことについてはわかった。とりあえず、まずこのアンケート調査の結果を見てから考えることにする。

佐藤重陽 だからそこが問題だと。そういう姿勢が問題だと思う。このものが会議が2カ月も3カ月もしなくなるの、このものに振り回されてるからそんななってしまうので毎月もう会議をやるということ、最初に月に1回程度はやるんだということで進んできたものが、このものの出現によって少しずつ来ているのかなという気がするので私はしたほうがいいんじゃないかなというふうに思う。というのはもしかして議会運営委員会に本気でやってもらおうほうが大事だと思うが、この21日に今日の全員協議会でも

姫路委員言っていたが、同じようなことを9月21日のFAXで今日の全員協議会、議会運営委員会が午後に行われるというような案内がFAXで来たときに、議会の会議の持ち方、会議のあり方、少し間違えているんじゃないかな。言って悪いけど議員報酬・議員定数なんて言う前にもっと議会のあり方、議員のあり方、いろいろ相談すべきことがあるのではないかな。今日の全員協議会の中で説明のあった職員の事故、それが議員に置き換えても議員の関わる事故・不祥事、例えば本人の起こした事故、家族が起こした事故、所属する会社や団体が起こした事故・不祥事そういうものによって軽犯的なものでない限りは、道義的なもの自分自身の中で決着しなければいけないようなこと、議会としてやはりそれを主導しなきゃいけないようなこと、やっぱりそういうものがあると思う。そういうものについて会議のあり方、議員のあり方、そういうものについてもどこかで話ししないとなんとなくおかしくなっているなど、最近の委員会運営なんか見ていると追認機関でしかないのかな。なんとなく情けない議会になってきているな。采配の仕方、会議の運営の仕方、非常に疑問でならない。だからそういうことを議会改革または議会運営委員会の中で並行してどんどん話をしていかないと、本当の意味での議会改革ってなんなんだろうな、議員定数と議員報酬が変われば議会改革されたことになるのかなと非常に不思議でならない気が私自身のこと戒めなければいけないと思っているが、そんなことも話をする場所も機会もなくなっているのかなと。だからもう1回我々自身の会議のあり方、議員のあり方を考えるいい機会にこの議会改革調査研究特別委員会をする必要があるのかなと、議会運営委員会が当然本当はそういうことは主導してやってもらいたいが、その辺のところは相談しながら歩調を合わせてやるのも結構だし、そんなことにも少し考えてほしいなというか、考えるべきなんではないかなという気がしてならない。

平山委員長 そのことについて議長何かあるか。

三田議長 そのことについてはいろいろなご意見あると思うので、今後皆さんと相談して検討してまいる。

平山委員長 ささまざまな意見があると思うが、自分としてはとりあえずは報酬と議員定数の問題がこの会議では一番大事だと思う。そのほかのことについては議会運営委員会もあるし、さまざまな会議があると思う。会派の委員会もあるし、そのことだと思う、議員のあり方を考えるのは、この議会改革調査研究特別委員会はやっぱり定数と報酬のことだと思う。大事なものは、それがそんなにはないと思う。

姫路 敏 協議の(1)をまず終わらせよう。アンケートについてお話しして、終わって次のその他で、今佐藤委員言われたこととかも含めて、これは議論したほうがいいと思う。

平山委員長 協議題の1についてはよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

平山委員長 この件については以上とする。

協議事項(2) その他

平山委員長 みなさんから、さっき佐藤委員言われたことも含めて事務局からどうぞ。

事務局長 事務局からは何もありません。

姫路 敏 私も佐藤委員言うように議会そのものが、合併して以来ずっと状況とかも見てみると、追認機関、いわゆる追認機関というのは行政に対してのことを賛成してやらないといけない機関みたいところが非常に私は旧村上市議会との比べようを見るとあるなあと思う。それは決して市民にとってもいいことではないし、緊張感のある議会運営こ

そが、今回の事故なんかでもそうだし、ああいうのを少し緊張感あるようなことをやっていたら、うるさいぐらいに言っていたらやっぱり出てこないだろう。両輪なんて言葉を使う人がたまにいるが、両輪と言うのは私は進み過ぎるところはブレーキかけてやる。進まないところはちょっと積極的に推進してあげるのが両輪だと私は個人的に思う。一緒の方向に向いて、そして回してやるのが両輪でないだろう。私はそう思っている、議会と行政側との立場を考えてみると。そうやって考えてみるとやっぱり議会としての権威も持っていないといけないだろうなと思っている。それにはやっぱり組織的なところも考えたときに、この前議長と副議長がいわゆる総務文教常任委員会に属しているので危機管理的なところも含めてどうだろうと、もう随分前から何か月も前から投げかけているので、それのところももう出てきてもいいだろうと、議長のほうから、これは二人いるけどもちょっとどうだろうとか、議会運営委員会に対して。そういうような本当にやろうという気持ちがあればそういうところにもつながっていくのだろうと思うけど、私の率直な今佐藤委員の話を受けてそういうところを感じることもあるので、少しこの特別委員会ではピックアップしながら、人の嫌なところをピックアップしていかなければならないので非常に難儀だが、言わなきゃならないところは言って記録に残していくことも必要なんだろうかなと思っているが、それもやっぱり議題のひとつに今後やっていくべきだろうと思う。

平山委員長
本間清人

わかった。ほかにあったらどうぞ。

委員長先ほど定数と報酬が一番大事だと言っていたが、それも大事だけど、じゃあこのアンケート踏まえたから議員でアンケート結果見て平均出したら45万になりました、だから来年の4月度から45万にしましょなんて結果になるわけでないわけだから、それを踏まえてどうするかということも大事なんだろうけど、それよりも今の現状の議会はどうなんだ、議会の中はどうなんだということについては一つ一つ解決しなきゃいけないんで、このアンケートはアンケートの結果を今一つ一つやっぱり解決していつて、原点に戻れば議会基本条例に基づいたもう1回見直しをしながら、この議会の改革していこうということがまず第一だったわけなんで、それに基づいて進んでいただくありがたい。

尾形修平

基本的に私の考えも多分皆さん今まで発言された方と同じ考えなんで、先ほど委員長が言った議員報酬と議員定数が大事なんだって言うのと私もちょっと感覚が違うので、先ほど本間委員が言われたように、この議会改革は議会基本条例を基に当初洗い出したわけだから、その辺の作業も一緒に並行しながらやっていくべきだなんて私は考えるので、このアンケートなんて出せば大した作業でないんで、そういうほうにも力を入れていくべきなんじゃないかなと。ただその中で議会運営委員会と特別委員会の住み分けとか、その辺をどうするかということが逆に大事になってくるのかなというふうに私は思う。

平山委員長

わかった。でもアンケート調査が出てから、その方向が見えてくると思う。そしてまた考えることにする。なかなか今現在、じゃあ何をやればいいんだということ浮かばないので、とりあえずはこのアンケート調査の結果を待つ。そんなことでよろしく願います。ほかにあったらどうぞ。

(「なし」と呼ぶ者あり)

その他

- 平山委員長 次に、次回の会議の日程を決めたいと思う。できたらこのアンケート調査の結果が出て、ある程度の集計が出てからがいいと思うが。
- 姫路 敏 このアンケート結果をメールでもらいたい、データで。それが一番いいな私の場合は。そういうふうをお願いしたい。
- 事務局長 メールアドレスのある方にはそちらにも同時に送らせてもらう。
- 姫路 敏 もう一つ、この前のテレビで二日くらい前に議会の情報公開なんていうのでNHKの番組でやっているほどなと思っていたが、政務活動費の領収書をホームページで公開しているのは上越市だけだそう。考えてみると、新潟県の場合は非常に閉鎖的であるなんていうコメントまで出てきてあれだが、その辺も今後これ終わってからも、定数削減だのなんだのって終わってからも、政務活動費の件はまた次回でもその次でもいいが、そんなところも少しもう一回よく考えてみてというのも必要かなと思った。
- 川村敏晴 日程言ってもらわないと。
- 事務局長 研修等が入ってくるので月末近くになるが、10月の27日の金曜日か30日の月曜日が用務の入っていない。
- (何事か呼ぶ者あり)
- 平山委員長 次回は10月27日の開催とする。なお、本日の委員会の結果については、委員のみなさんから各会派へご報告くださるようお願いする。

委員長（平山 耕君）閉会を宣する。

（午後1時34分）